

赤坂警察署からのお知らせ

詐欺被害急増中!
～こんな電話に注意!～

「電車に鞆を忘れた」「会社のお金を使い込んだ」
「レターパックや宅急便でお金を送って」「還付金がある」
「マイナンバーの調査・確認です」「サイト利用料金が未納です」
「名義を貸してください」「あなたに〇〇の権利が当たった」
これらの電話は全て詐欺の手口です。相手にしないですぐ110番または赤坂警察署に電話してください。

～大切な財産を守りましょう～

●お問い合わせ／警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係
電話：03-3475-0110 (内線2612)

赤坂消防署からのお知らせ

平成28年 東京消防庁
出初式を実施します

東京消防庁出初式は、毎年1月6日に、消火・救助・救急演技、消防機械部隊分列行進、江戸消防記念会による伝統の木遣り行進、はしごのり、東京消防音楽隊カラーガーズ隊の演奏・演技など防火防災の行事として親しまれています。
また、消防車両の乗車体験や起震車による地震体験など、楽しみながら防災を学ぶコーナーも用意しています。
皆様お問い合わせのうえ、ぜひお越しください。

●日時：平成28年1月6日(水)
●場所：東京ビッグサイト東展示場東側埋立地
(江東区有明三丁目10番先)
※詳細は東京消防庁ホームページで順次更新していきます。

地震大! 家財の安全

してますか?
家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。
東京消防 検索

東京消防庁

病院へ行く? 救急車を呼ぶ? 急な病気やけがで迷ったら
東京版 救急受診ガイド

病気やけがの緊急度や受診する科目をパソコンや携帯電話などで確認できる「東京版 救急受診ガイド」のサービスは東京消防庁ホームページで提供中

携帯電話からはこちら
スマートフォンからはこちら

冊子版「東京版救急受診ガイド」でも確認できます。詳しくは最寄りの消防署まで

東京消防庁 救急相談センター #7119

●お問い合わせ／赤坂消防署予防課 防火管理係
電話：03-3478-0119
赤坂消防署ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaka/>

赤坂・青山
地域の活動 vol.8

地域で活躍している
方々を紹介!!

赤坂消防団副団長
松浦 栄一 さん

赤坂消防団は定員130名で、仕事や学業に従事しながら、地域の安心安全のため様々な活動を実施しています。主な活動は、災害活動はもちろん、地域住民に対する初期消火訓練や応急救護訓練などの指導の実施や災害が発生した場合に、迅速確実に対応するための各種訓練です。地域の行事を開催する際は地元郷土愛の精神を持って、消防特別警戒など、精力的に実施しています。また赤坂・青山地域の事業所などに勤務している多くの方々も地域貢献のため活動しています。

■いつからこの活動をされているのですか? また、関わる
ことになったきっかけを教えてください。

35年前から消防団の活動をしています。きっかけは、父が町会長だったことです。昔は、街のつながりを活用して消防団員を募集していました。町会長であった父から誘いがあり、また、近所にお住まいの団員の方からお声掛けをいただき、消防団の活動をするに至りました。

■消防団の活動内容を教えてください。

災害時の出動はもちろん、地域のお祭りや盆踊りの警戒、歳末の警戒、町会などへの初期消火や応急救護の指導、震災を想定した訓練を行っております。また、毎年春にはポンプ操法訓練という大きな訓練を行っています。この訓練では動きの正確さ、熟練度など消防技術を競います。ポンプ操法訓練は仲間意識や団結心を養うとても良い機会になっています。

■消防団の仕事で大変だと感じる時は、どのような時ですか?

夜遅くに火災や災害などが発生すると、活動が深夜に及ぶこともあり、なかなか人数が集まらず大変だと感じます。

■これからの目標を教えてください。

消防団には強い組織力と団結力があります。その力を地域の安全のために最大限発揮していきたいと思っています。また、仲間意識が強いことを活かし、より楽しい消防団にしていきたいと思っています。

■ここを読んでいる方へ、メッセージをお願いします。

災害発生前から、災害に関心をもってください。いつ、災害が発生するかは分かりません。近い将来には、首都直下型地震の発生が予想されています。日頃から地域との関わり合いを大切に、自助・共助の精神を大切にして、力を合わせて赤坂・青山の街を守っていきましょう。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話 03-5413-7272

赤坂・青山で見つけよう!
世界のこと

第29回 青山祭
～ふれあいインターナショナル～

10月30日～11月1日
の3日間、「青山祭」が開催されました。

テーマは「ふれあいインターナショナル」。大使館や地元企業、地域の団体の協力のもと、国際色あふれる多種多様なイベントが行われました。

「青山ワールドパレード」では、多くの団体が青山通りをパレードしました。青森県五所川原市からは、コソノジュンコさんをデザインした「ジュンコねぶた」が、ご本人とともに進出されました。「ヤッテマレ!」の力強い掛け声が、多くの注目を集めました。

「青山ワールドマーケット2015」では、日本各地のご当地グルメや世界各国の特色ある料理が人々をもてなしていました。

「BOSSA AOYAMA (ボッサ・アオヤマ)」は、ブラジル音楽・ボサノヴァのライブを青山周辺の施設で開催し、人々の心を和ませてくれました。

BOSSA AOYAMA演奏の様子

都立青山高校の生徒さんの協力もあり、とても賑やかなお祭りとなりました。

青山祭、来年も開催予定です。色々な国や地域の方と接することができる、青山ならではのお祭りです。

●お問い合わせ／青山まつり事務局 ホームページ <http://aoyama-matsuri.jp/>

青山霊園眺望
～人と歴史～

第26回
後藤 象二郎 (1838～1897年)
1種イ 第13号24則1,2,3番

波乱な少年期を過ごす
土佐藩士、後藤正晴の長男として高知城下片町に生まれました。少年期に父を失い、義理の叔父・吉田東洋に預けられて育ち、東洋が開いた少林塾(鶴田塾)に学んでいます。また、柳藩士・大石種昌の大石影流剣術を学び、文武の業を修めています。幼名は保弥太、良輔と言ひ、象二郎は通称です。

華々しい政治家であり、土佐三伯の一人
日本の幕末から明治時代の武士であり、正二位勲一等伯爵で土佐三伯の一人と言われています。ほかに板垣退助、佐々木高行がいます。維新後に懇意にしていた福澤諭吉は、新聞に「後藤伯」と題する社説を掲載して、政治の現状を変え、諸悪をばらひ清める「非常大胆の豪傑・満天下唯一の人物」は後藤伯だけであると、幕末から維新に至るまでの功績を絶賛しています。

後藤が著名である理由として、幕末期に土佐藩や国政に関わった功績が挙げられています。公武合体から非藩幕への政治姿勢を転換させた背景として、時流が薩長同盟によって倒藩へ傾斜したことに対する土佐藩の焦りが挙げられています。後藤は坂本龍馬の大政奉還策を取り上げ、建白書として徳川慶喜に提出しています。慶喜は後藤から40藩の重臣を集めて意見を聞き、朝廷に政権返上を申し出ています。

慶喜が大政奉還を行った後、これまでの功により、後藤に中老格700石に増増し、役料800石を合わせて計1500石に米進しています。また、明治維新の功により、章典禄1000石が贈られています。

板垣とは幼児期に同塾で学ぶ
二人は生家が近く、幼児期は同じ塾で学んでいたようです。土佐出身の二人は維新や民権運動などで協力しつつ、考えの違いなどで離反も繰り返していたようです。やがて二人は、朝廷を幕府の融和をめざす公武合体を唱える後藤に対し、板垣は倒幕を主張しています。維新後は、一緒に自由民権運動を進めても、政府に対する立場を異にするなど、反目することが多かったようです。

実業家としても手腕発揮
後藤は慶応2年(1886)、藩命を受けて薩摩、長崎に出張し、上海を視察して海外貿易を研究してきています。坂本龍馬と深く関わるようになったのはこの頃と言われています。明治7年(1874)、実業に転身して商社を設立しています。55万円で政府から高島炭鉱払い下げを受けて経営に乗り出しますが、2年後には福澤諭吉の要請で三菱の岩崎弥太郎に売却しています。

明治29年(1896)夏頃、心臓病を患って箱根で療養していましたが、翌30年(1897)に死去しました。

参考文献:
『福澤諭吉書簡集 第二巻』慶応義塾編(岩崎書店・2001年)
『明治・大正・昭和華族事件録』千田稔著(新潮社・2005年)

清風亭会談の頃の象二郎

赤坂・青山地区の放置自転車対策

港区は、地下鉄駅周辺における放置自転車対策のため、国等関係機関と協力するとともに地域と協働し、自転車等駐輪場の整備及び周知を進めています。しかし、赤坂・青山地区は、整備する土地が少なく、地区にある全ての駅周辺に整備できていません。

赤坂・青山地区の違法駐輪を減らすため、駐輪するスペースを増やしたいという思いと駐輪するスペースを作るなら景観美化に配慮し、青山らしく格好よく止めてもらいたいという思いから「トメル+ミセル」デザインというコンセプトで駐輪スペースのデザインコンペBDA (Bicycle street Design competition AOYAMA)を毎年開催しています。

この取り組みは、青山商店会連合会が2009年に街と自転車の共生を目指し、「自転車にやさしい街」宣言を行い、企業や団体の協力を得ながら、さまざまな活動を進める取り組みの一つとして、2012年に青山自転車会議という有志で始め、2014年度までに3回行いました。

左の写真は、昨年度の優秀賞に選ばれた「Parking Comb (クシ型ラック)」です。次回(4回目)は、OVE南青山の主催でコンペを開催し、著名な建築家5名によるデザインから審査を経て、2016年2月頃に発表する予定です。今後は、赤坂・青山地区の自転車等駐輪場にBDAで選ばれた作品のデザインを駐輪ラックに活かせるようにしていきます。

また、港区は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて「港区自転車シェアリング」のポート設置を進めていて、青山商店会連合会とBDA事務局から青山地区の設置場所の情報提供をいただいています。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

いろいろな国の人々と
交流しませんか?

～港区国際交流協会のご案内～

港区には、80を超える大使館をはじめ、在住外国人や来訪者が多いことから、日本人と外国人が交流する機会がたくさんあります。異なった文化や人の交流は、心の豊かさにつながります。

港区国際交流協会(MIA)はそうした「交流」のきっかけづくりをするため、ボランティアの協力を得ながら、さまざまなイベントや、語学や生活面で外国人の支援を行っています。

イベントや支援は、どなたでもご参加、ご利用できます。日本で生活に不安を感じている外国人はもちろん、外国人と交流してみたい日本人や外国人を支援したい日本人の参加も大歓迎です。まずはイベントなどに参加して雰囲気を感じてみてください。各種イベントに会員登録で参加できる「会員」制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ／一般財団法人 港区国際交流協会
電話 03-6440-0233
ホームページ <http://www.minato-intl-assn.gr.jp/>
〒107-0061 北青山1-6-3 都営北青山一丁目アパート3号棟B1F
東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目」駅0番出口から徒歩5分

赤坂地区総合支所からのお知らせ

「赤坂・青山美しいまちマナーのまち」
キャンペーンに参加して、
まちをキレイにしませんか?

「赤坂・青山美しいまちマナーのまち」キャンペーンって何??

「赤坂・青山美しいまちマナーのまち」キャンペーンは、地元の住民や企業、行政が協働して、まちの清掃活動を行うことで、たばこのポイ捨てや路上喫煙の禁止など、マナーの向上や周辺環境の美化を目標としているのよ。それに、清掃活動をいっしょに行うことで、参加者同士が顔の見える、地域のきずなを育める関係になれて、「赤坂・青山」の安全・安心の確保にもつながっているのよ。

キャンペーンはいつやっているの?

キャンペーンは7・8月を除く、毎月2回実施されているわ。赤坂見附駅、溜池山王駅、赤坂駅、青山一丁目駅、外苑前駅、表参道駅をローテーションで回っているの。時間は場所によるけど、午前7時もしくは午前9時30分からやっているわ。毎回多くの方にご参加いただき、全員で「赤坂・青山」を美しく、誇りあるまちとするように活動しているのよ。

なるほど! 地域も企業も、みんなで「赤坂・青山」を美しくしようとしてくれるんだね! ぼくもキャンペーンに参加してみようかな!

クリーンキャンペーンにご参加いただける企業、団体を募集しております。個人の方も大歓迎! 詳しくは協働推進課まで問い合わせてください。

●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係 電話：03-5413-7272

いろいろな国の人々と
交流しませんか?

～港区国際交流協会のご案内～

港区には、80を超える大使館をはじめ、在住外国人や来訪者が多いことから、日本人と外国人が交流する機会がたくさんあります。異なった文化や人の交流は、心の豊かさにつながります。

港区国際交流協会(MIA)はそうした「交流」のきっかけづくりをするため、ボランティアの協力を得ながら、さまざまなイベントや、語学や生活面で外国人の支援を行っています。

イベントや支援は、どなたでもご参加、ご利用できます。日本で生活に不安を感じている外国人はもちろん、外国人と交流してみたい日本人や外国人を支援したい日本人の参加も大歓迎です。まずはイベントなどに参加して雰囲気を感じてみてください。各種イベントに会員登録で参加できる「会員」制度もありますので、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ／一般財団法人 港区国際交流協会
電話 03-6440-0233
ホームページ <http://www.minato-intl-assn.gr.jp/>
〒107-0061 北青山1-6-3 都営北青山一丁目アパート3号棟B1F
東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目」駅0番出口から徒歩5分

地域デビューの集いを開催します

赤坂・青山にお住まいのみなさんに、改めて地域を学び、地域に愛着を感じ、新しい仲間と出会う、そんな新たな交流のきっかけとなる場として、「地域デビューの集い」を開催します。地域コミュニティに参加してみたいけどきっかけがない、赤坂・青山ではどんな地域活動があるのか知りたいといった方はぜひお問い合わせのうえ、「地域デビューの集い」にご参加ください。合同団によるコンサートや演芸コーナーも予定しております。

●対象：どなたでも ●費用：無料
●日時：2月27日(土)午後2時から午後3時30分まで
●場所：赤坂区民センター 区民ホール
●お問い合わせ／協働推進課 協働推進係
電話：03-5413-7272

シニアのみなさん
もっとオシャレを楽しみませんか?

赤坂・青山シニアファッションスタ事業のご紹介

港区では、今年度から「赤坂・青山シニアファッションスタ事業」を行っています。この事業では、シニアのみなさんにオシャレを楽しんでもらい、積極的に街に出て、いきいきとした生活を送っていただきたいと考え、次のような取り組みを行っています。

●ファッション講座……ご自身のファッションをもっとよくしたいと考えている方向けに各種講座を開催しています。
●シニアモデル撮影会……赤坂・青山のオシャレなスポットで、ご自身のご自慢のファッションを撮影します。数々の著名人を撮影しているプロのカメラマンとヘアメイクが撮影を担当しますので、モデル気分を味わうことができます。最終的には写真集の発行を予定しています。

赤坂・青山在住・在勤のおおむね70歳以上の方が対象です。性別・国籍は問いません。また、お知らせの方をぜひご紹介ください。

各募集については、区の広報誌や掲示板などで随時お知らせしていきます。ご興味のある方は一度お問い合わせください。

●お問い合わせ／協働推進課 地区政策担当
電話：03-5413-7013

この情報誌についてのご意見・感想などを聞かせてください

赤坂青山地域情報誌 第34号
平成27年(2015)12月発行
編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング
地域情報の発信・交流分科会
発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課
〒107-8516 港区赤坂4-18-13
電話：03-5413-7013
FAX：03-5413-2019 (発行部数 24,250部)

「MYタウン赤坂青山」は、地域の人々が自ら企画・取材し、編集する地域情報誌です。赤坂青山の身近で魅力ある情報の発信を目指します。

赤坂親善大使
アカサカメン

再生紙を使用しています

日本文化紹介イベント(等)

特集 世界の
ゆる年
くる年

SHNORHAVOR
NOR TARI

SREČNO
NOVO LETO

あけまして
おめでとう!

Susaday
Chknam
Thmei !

Umnyanga
O Mhendi

BONNE
ANNÉE

